



美 唄

B i b a i

画期的な受賞!!ピバ, 美唄!!

平成14年度北海道歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール第二次審査により、知事賞に美唄市立西美唄小学校2年生の鈴木祥梧君が、STV賞に美唄市立光珠内中央小学校2年生の鈴木美穂さんが、それぞれ入賞しました。これは当郡歯会としては画期的なことで、甚だ名誉なものと存じます。おめでとう両君!!

(小森英世記)

冷夏の空知盛り上がり

夏らしい暑さをほとんど感じないまま9月を迎えてしまったが、気温30度以上の真夏日は1日。過ごしやすい日々が続いた一方、気温や日照不足が農業に影響を与えたほか、行楽地夏物商戦の伸び悩みもつながった。短い空知の夏を振り返ってみる。天候は岩見沢測候所によると、平均気温は昨年より0.2度低い19.6度。真夏日は1日だけで、深川、滝川では1日もなく、日照時間は7月、

8月の合計で195時間で平年の約60%に止まっている。

農業では日照不足や低温は農作物の生育の遅れにもつながっている。水稻の登熟はやや遅れ気味。不稔ふねんの割合は今後の気象条件などによって多くなる可能性があるという。小麦は雨が多かったため適期収穫が遅れたので品質に不安が残るという。玉ネギも遅れており、乾燥がうまく進むか、ここ10日程が勝負という。バレイショも日照不足で味の低下が心配という。

観光地は大苦戦。観光地はどこも低温と雨天が多かったことで3割から5割減。

夏季商戦も振わなかった。滝川の夏の風物詩、滝川の三浦華園の屋上ビアガーデンも長雨と低温に泣かされた。7月1日から8月11日の期間中、営業出来たのは昨年より10日少ない18日間。客も300人と昨年に比べ半減したという。特に8月は3日しか営業できなかった。同園社長はこれほどひどい状態は過去に記憶はないと嘆く。

反対に景気の良い記事も記載したい。涼しい夏に暑さに弱い乳牛は乳量がアップと好調。冷涼な気候に適したビートも順調でハウス栽培のシイタケも良好な生育という。ダイエー岩見沢店では夏物衣類を早目に処分し、8月初めから秋物に切り替えたところ、売り上げは前年比4割程伸びているという。例年8月に急増するスズメバチの駆除の相談もゼロ(7月は8件)。冷夏のためハチの活動も鈍いのではと保健所では言う。道内保健所から出される食中毒警報も8月31までに84件と例年の4割以下にとどまっているというあたり冷夏にも良いこともあるから面白い。

(雨田 実記)